

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年3月31日 ()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	東栄町 235628
地域名 (地域内農業集落名)	桑原地区 (振草村)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	2 ha
② 田の面積	2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.3 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	0 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、圃場が小規模かつ農業者の高齢化が進んでいるものの、受け手がおり、農業の継続が可能な状況となっている。しかし、担い手が不在であることに加え、一部において受け手がいない農地も存在するため、誰がどのように管理していくのが課題となる。

営農環境の面では、この地域は山林に挟まれており、水がたまりやすく、日照も短い。そのため、水捌けが悪く営農状態が悪い。また、鳥獣被害も多いため、営農環境の改善方法も課題である。

【地域の基礎的データ】

農業者:5人(うち50歳代以下1人)、団体経営体:桑原地区環境保全会、桑原地区集落協定

主な作物:水稻、里芋、白菜、ナス等

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・米を主要作物とする。担い手の確保が難しいため、現状維持しつつ、団地化による有効利用や規模拡大を検討していく。
- ・受け手がいない農地については地域一体となってサポートする。
- ・地域外の耕作希望者がいる場合は積極的に受け入れを検討する。
- ・営農環境の改善に向けた施策を検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
地域の話し合いにより継続して農地の管理を行う体制を維持し、農地中間管理機構への貸付により農業を担う者への農地利用を進める。					
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	0	%	将来の目標とする集積率	10	%
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標					
地域の農地の団地数及び面積は、3個所、平均25a(令和6年度時点)となっているが、非担い手が管理しているため、団地数の削減及び面積の拡大を進め、今後担い手となれるように支援していく。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理事業を活用し、担い手となりうる農業を担う者を中心に農地中間管理機構と連携しながら農地集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地域の農地を農地中間管理機構に貸し付け、出し手と受け手の経営意向を踏まえて、段階的に集約化を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
予定なし
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
・小規模でも就農希望者がすぐに耕作を開始できるように保全管理を地域一体となって行う。 ・町などと連携し、就農希望者に農地を紹介できる体制を確立する。 ・地域外からの就農者の積極的な呼び込みを検討し、地域内の農業者については将来の担い手として育成するため、JA等と連携していく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
予定なし

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
①イノシシやシカ、サルなどの鳥獣被害を抑えるために、侵入防止柵の設置等の対応策を検討する。 ⑦中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金事業を活用し、地域一体となって適切な維持管理を行う。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稲	0.767 ha	0 ha	水稲	0.767 ha	0 ha	A	
利用者		水稲	0.292 ha	0 ha	水稲	0.292 ha	0 ha	B	
利用者		水稲	0.23 ha	0 ha	水稲	0.23 ha	0 ha	C	
利用者		水稲	0.221 ha	0 ha	水稲	0.221 ha	0 ha	D	
利用者		水稲	0.246 ha	0 ha		ha	ha		
利用者		水稲	0.069 ha	0 ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		1.824 ha	0 ha		1.51 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。